

日本の未来を拓くよすが（拠）を求めて  
-日本の近代化を導いた人々の思想と行動、その光と影を追う-

世界の中の日本。科学文化の諸相に彼我の風土の違いを発見した人物  
(Part II 科学・技術分野)

## 日本のものづくりの源流

～田中久重を生んだ江戸時代再考

講師： **鈴木 一義** 先生

### 【講演要旨】

東芝の創始者である田中久重は、寛政 11 年(1799)に鼈甲細工職人の子として生まれ、長じてからくり儀右衛門として和時計の最高傑作「万年時計」や「弓曳童子」等々、人々を驚かす様々な発明、工夫を行った。幕末には佐賀藩精煉方に招かれて欧米科学技術に挑み、維新後は 70 歳を超えて東京に出て東芝の始まりを興した。この職人としての波瀾万丈、自由奔放な一生。それが可能だった江戸時代とは、どのような時代だったのだろうか？

260 年に及ぶ平和な社会が続いた江戸時代。平和な社会が実現されたことで、鉄砲や刀の技術が農具生産に使われるなど、知識や技術は一部に独占されることなく、広く社会、人々へ伝えられた。また江戸幕府は、基本的に諸藩の上に君臨しつつも、過度な支配・干渉は行わず、各地域は諸藩により自主的に統治され、それぞれの地域が繁栄を競って、身分の上下を問わず勤勉や勤労が勧められたため、庶民にとっても「読み書き算用は世渡りの三芸」は当たり前のことだった。久重を生んだ江戸時代とは、この平和な社会と知的好奇心に溢れた人々によって、今日まで繋がる日本の技や美、ものづくりの源流がつけられた時代であった。

### 【講師略歴】

1957 年生まれ。国立科学博物館 産業技術史資料情報センター長。専門は科学技術史。「見て楽しむ江戸のテクノロジー」(監修 数研出版)、「日本人の暮らし」(監修 講談社)、「20 世紀の国産車」(三樹書房)、「日本の鉱山文化」(国立科学博物館 特別展図録)、「からくり人形」(学研)、「日本の産業遺産 300 選」(共著 同文館)、「技術史教育論」(共著 玉川出版)、「技術知の位相」(共著 東京大学出版)、「日本モノづくりモノがたり」(東京新聞 13 回連載)など著書多数。

日時： 2016 年 **7 月 20 日 (水) 18:00**～ 20:30

会場： **公益財団法人国際高等研究所**

参加費： **2,000 円** (交流・懇談会費用を含む)

定員： **40 名** (申し込みが定員を超えた場合は抽選)

申込： 「参加申込書」(裏面) によりお願いいたします

詳細： <http://www.iias.or.jp/public/goethe.html>

しめきり

7月16日(土)

必着

**IIAS** 公益財団法人  
**国際高等研究所**  
International Institute for Advanced Studies

ゲーテの会とは・・・

けいはんな学研都市の建設理念は、「従来の近代科学技術文明を乗り越え、新たな地球文明を創造するために、西欧が生み出した文明の成果と自らに固有の東洋の文化を総合する」ことにあります。高等研にあるゲーテの胸像はその理念のシンボルです。満月の夜は高等研で、人類の未来と幸福・けいはんな学研都市の将来について一緒に考えてみませんか。

第 37 回

満月の夜開く けいはんな哲学カフェ

ゲーテの会



# 参加申込書

- 下記に必要事項を記入して、FAX 又は郵送でお申し込みください。
- E-mail でのお申し込みの場合は、以下の内容を記載してお申し込みください。
- なお、申込書記載の個人情報は、当会の開催ご案内等を行うために使用させていただきますが、外部に公開することはありません。

◆ お問い合わせ、お申し込み先 ◆

〒619-0225 京都府木津川市木津川台9丁目3番地

公益財団法人国際高等研究所

けいはんな「ゲーテの会」事務局

E-mail : goethe0828@iias.or.jp FAX : 0774-73-4005

第37回 満月の夜開く けいはんな哲学カフェ 「ゲーテの会」 2016年7月20日(水)開催		
お名前		
ご所属		
部 署		
役 職		
連絡先	ご住所	
	TEL	FAX :
	E-mail	

## ■ 会場案内

